

平成 29 年度

第 9 号

H29.7.20



船中便り

かしこく やさしく たくましく

柴田町立船岡中学校

TEL 0224-55-1162 Fax 0224-55-5444

〒989-1606 柴田町大字船岡字七作 26

(mail)info@funaoka-jhs.shibata-town.ed.jp

1 学期 70 日間終了 充実した夏休みを！！



第一学期終業式校長式辞

7 月に入って連日 30 度を超える暑さが続く中、暑さに負けずに授業や諸活動に取り組み、1 学期 70 日間の学びに区切りを付け終業式を迎えることとなりました。

さて、この 1 学期を振り返り強く印象に残ったことは、一人一人の頑張りが仲間の心を突き動かし、「自分もあのような姿を目指したい」「次は自分が頑張るぞ」と語る船中生の姿が数多く見られたことです。

具体的な場面を挙げてみましょう。4 月の対面式では、思わず笑いが出てしまう場面をうまく取り入れながら中学校生活を紹介したパフォーマンスや、応援団リーダーを中心に体育館いっばいに響き渡った応援活動などが繰り広げられました。その上級生の頑張りに入學 6 日目の 1 年生から「来年は自分たちがあのような活動をして新入生を迎えたい」との言葉が聞こえてきました。また、6 月の中総体、水泳大会では「負けてたまるか」という気持ちで相手選手や記録に立ち向かった姿が仲間や後輩に伝わり、チーム一体となって競技することができました。さらに、全校生徒で臨んだ陸上大会では力の限り競技する選手、声をからして声援を送り、ウェーブで体いっばいに喜びを表現する応援団など、その両者の姿に船中生の一体感が見られました。競技を終えた後、「来年は 3 年生の先輩たちのような選手として頑張りたい。再び応援団リーダーとして先頭になって応援をしたい」との声が 2 年生、1 年生から聞こえてきました。

一人一人がたくたくたになるくらい全力を出し切り、仲間や後輩の心を揺さぶった頑張りの陰には、日々の地道な積み重ねを惜しまず続けた粘り強さがあったことと思います。私たちの学びや活動は、「目的地を自ら定め自転車をこぎ続けて目指すようなもの」と例えることができます。一定の力で平地をこぎ続けられれば、一時力を入れなくても進むことができます。しかし、全くこがなければ進むことはできず、どこかで挽回しなければなりません。

今、一人一人の心の中には、この夏休みにはこのようなことを頑張ってみよう、挑戦してみようという気持ちで満ちあふれていることと思います。いずれ立ち向かわなければならない向かい風や上り坂にも、ひるまずに向き合う気力、体力、智慧をしっかりと蓄え、夏休み明けに一段と成長したみなさんが一堂に集うことを期待しています。

平成 29 年 7 月 20 日 柴田町立船岡中学校長

地区生徒会が 7 月 18 日（火）の放課後に行われ、

資源回収・危険箇所・地区での行事等について確認しました。今年度より区長さん

へ参加いただくように案内致しました。ご都合の

ついた区長さん 7 名の方々にお越しいただ

きました。ありがとうございました。

7 月 30 日（日）8 時より

PTA 資源回収

（荒天中止：連絡 メール送信）

9 月 2 日（土）8 時 50 分より

親子運動会

ご協力・ご参加よろしくお願ひします。

